



最上エコボリスの実現  
＝豊かな自然 輝くもがみ＝

# 小国川だより

最上小国川治水対策について、お知らせします。

## 小さなダム・大きな仕事 最上小国川ダム

第37号

平成24年6月22日発行

山形県 最上総合支庁  
建設部 河川砂防課

### 平成24年度国土交通省関係予算の配分決定

#### 最上小国川ダム本体建設に向け準備工事に着手

国土交通省は、4月6日、平成24年度関係予算について、事業別配分を決定しました。

ダム検証において、昨年8月に「継続（補助金交付の継続）」とする対応方針が決定（※）された最上小国川ダム建設事業は、要望していた5億5千万円の事業費が満額配分され、今年度はダム本体建設に向け工事用道路などの準備工事に着手します。（※詳しくは第33号をご覧ください。）

【今年度の工事関係は下記のとおりです。】

#### ○工事用道路（下流）（右図①）

ダム計画地点下流側へアクセスできるように工事用道路（長さ約400m、幅4.0m）を地権者の皆様からご協力をいただきながら夏頃を目処に着工する予定です。

#### ○工事用道路（上流）（右図②）

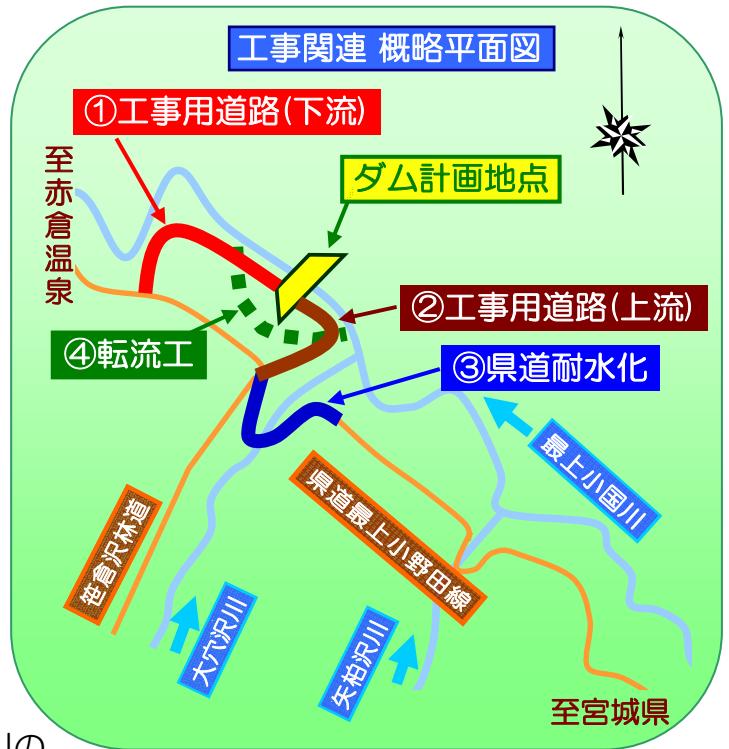
ダム計画地点上流側へアクセスできるように工事用道路（長さ約150m、幅4.0m）を同じく地権者の皆様から用地補償のご協力をいただきながら秋頃を目処に着工する予定です。

#### ○県道耐水化（右図③）

ダム完成後、大規模な洪水が発生する場合は県道最上小野田線の一部が冠水するため、冠水区間の耐水補強工事（長さ約500m、幅4.0～9.0m）を秋頃から着工する予定です。

#### ○転流工（右図④）

ダムを建設する準備工程として、現在の川の流れを一時的に迂回（うかい）させるトンネル（長さ約250m、径3.8m）を、ダム計画地点の隣に来年度までの工期で年末から着工する予定です。



### 最上町、国土交通省等へ中央要望活動実施

最上町の高橋町長・菅町議会議員ほか町議会議員団は、4月12日、「最上小国川ダム建設事業の推進」と「国道47号山形・宮城県境部整備促進」について、宮城県大崎市と合同で



「松浦大悟」民主党陳情要請対応本部副本部長（右から5人目）へ要望する最上町長・町議会議員団



「津島恭一」国土交通大臣政務官（右から2人目）へ要望する最上町長・町議会議員団

「津島恭一」国土交通大臣政務官・「松浦大悟」民主党陳情要請対応本部副本部長のほか県選出国會議員へ要望書を提出し、特段の事業推進を要請しました。

## 赤倉温泉最上小国川穴空きダム建設促進期成同盟会開催

4月22日、お湯トピアもがみにて、赤倉温泉最上小国川ダム建設促進期成同盟会の総会が開催されました。総会では、早坂会長の挨拶の後、議事が行われ、安心・安全な地区にするため、最上小国川穴空きダムの早期建設に向けたアピール看板の設置を決議するなど盛会のなか閉会しました。

その後、平成24年度の最上小国川ダム建設事業について、最上総合支庁から説明を行いました。さらに大雨や洪水時に住民の方の迅速な避難活動や円滑な防災活動を行うための気象注意報・警報、土砂災害警戒情報、雨量、水位等の情報を提供する「山形県河川・砂防情報システム」(※)の利活用についても、説明を行いました。(※詳しくは第36号をご覧ください。)このように最上総合支庁では地域の皆様からの要望を受けて、職員を派遣し、総合支庁が行う事業や最新の施策、各種制度などを説明する「職員出前講座」を実施しています。ご希望の際は下記の県HPをご覧ください。



<http://www.pref.yamagata.jp/pickup/interview/pressrelease/2012/04/26103649/>

## 東日本大震災復興“支縁”プロジェクト「もがみ元気市」開催

5月13日、最上町にて、東日本大震災復興“支縁”プロジェクト「もがみ元気市」が開催されました。これは、東日本大震災から一年が過ぎた今、被災地との“縁(えん)”づくりによる交流活動や支え合いのまちづくりを目的としたもので、被災地の宮城県気仙沼市内と町内の伝統芸能保存団体による共演、ご当地グルメや逸品を販売する全国逸品復興支縁市など多くの参加者のもと催されました。さらに被災した東日本沿岸への緊急輸送道路をわずか一週間という驚異的なスピードで確保し、救援活動を可能にした「くしの歯作戦」を陣頭指揮した国土交通省東北地方整備局の徳山日出男局長を講師に「災害に屈しない丈夫なまちづくり講演会」が催され、改めて防災の大切さを再認識した有意義な一日となりました。



「富山観音太鼓演奏」  
(富山馬頭観音太鼓保存会：最上町)



「災害に屈しない丈夫なまちづくり講演会」  
(徳山東北地方整備局長)

## 第10回最上小国川流域環境保全協議会開催決定

山形県では、最上小国川の治水対策を進めるにあたり、流域の環境保全を図るため、「最上小国川流域環境保全協議会」をこれまで9回開催し、自然環境の調査・保全対策や工事実施に伴う環境影響への配慮事項等について、審議してまいりました。

この度、第10回の協議会の開催が下記のとおり決定しました。

今回は、平成23年度の環境調査結果と今後の調査方針について、委員の方々からご意見をいただく予定です。

- 1.開催日時 平成24年6月27日(水) 13:30~15:30
- 2.開催場所 新庄市 市民プラザ 小ホール(新庄市大手町1番60号)

発行：山形県 最上総合支庁 建設部 河川砂防課 最上小国川ダム建設室 高橋・庄司  
〒996-0002 山形県新庄市金沢字大道上 2034  
お問合せ先 電話 0233-29-1407 Email -【前画面を参考にしてください】

バックナンバーは県HPからダウンロードできます。アドレスは下記のとおりです。

[http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami\\_bo/news/news/7314074ogunigawa\\_news.html](http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo/news/news/7314074ogunigawa_news.html)